2026
No.121

山本左近 NEWS

令和8年 11月 8日　発行所：山本左近政策研究会
〒440-0806愛知県豊橋市八町通1丁目14-1　Tel. 0532-21-7008　Fax. 0532-21-7003

121号

子育てと仕事を支え誰もが安心して暮らせる社会へ

11月6日、衆議院の特別委員会で質問しました。テーマは、こどもの放課後、地域産業の成長、医療・介護のデジタル化。豊橋・東三河で伺った声をもとに、国に具体的な支援を求めました。

①こどもの放課後
【「小４の壁」を越え、体験の機会を】

放課後児童クラブ（学童保育）は、小学6年生まで利用できる制度ですが、地域によっては3年生までしか受け入れられないところもあります。2025年の国の調査では、入所を待つこどもの約6割が4年生以上でした。

また、家庭の経済状況によって、習い事やスポーツ、自然体験などの機会にも差があります。2022年の民間調査では、年収300万円未満の家庭のこどもの約3割が、1年間、学校外の体験活動に参加していませんでした。

【好きなことを見つけ、挑戦できる環境を】

AIが進化する時代だからこそ、友達と遊び、学び、挑戦する経験が大切です。「自分にもできた」という喜びが、次の一歩につながります。

私は、高学年になっても安心して過ごせる居場所と、多様な体験の機会を増やすよう求めました。

中司大臣からは、学校施設の活用や、高学年向けの新たなモデル事業、こどもが主体的に参加できる活動への支援を進めるとの答弁がありました。

②地域の産業と仕事
【地元の強みを、働く人の所得向上へ】

豊橋・東三河には、農業、自動車産業、ものづくりなど、多くの強みがあります。

国は、このような地域の産業を伸ばす「地域未来戦略」を進めています。しかし、自治体からは「何を、どのような手順で準備すればよいのか分かりにくい」という声も届いています。

【計画づくりから国が支える】

レースでも、スタートラインに立つまでの準備が重要です。私は、自治体が早い段階から相談でき、計画づくりから実行まで支援を受けられる仕組みを求めました。

藤井大臣からは、国の相談窓口や担当職員による支援に加え、計画に位置づけられた事業については、地域未来交付金の優先採択などで後押しするとの答弁がありました。

既に交付金を活用している自治体が、新たな事業にも利用できるかなど、具体的な条件は引き続き確認していきます。地元企業の成長を、雇用や所得の向上につなげていきます。

③医療・介護の安心
【現場で感じてきた、情報共有の大切さ】

私はこれまで、医療・介護の現場に携わる中で、病院、診療所、介護施設の間で必要な情報を共有することの大切さを実感してきました。

例えば、病院から退院して自宅で介護を受けるとき。必要な情報が円滑に引き継がれれば、患者さんもご家族も、より安心して過ごせます。

デジタル化は、医療・介護に携わる人の負担軽減にもつながります。

【大切な個人情報と診療を守る】

一方、サイバー攻撃によって診療が止まったり、患者さんの情報が漏れたりする危険もあります。

私は「サイバーセキュリティは、デジタル社会の防災」と訴え、小規模な医療機関や介護事業所も含めた安全対策を求めました。

古川大臣からは、電子カルテの安全性を確認する仕組みや、外部ネットワークとの接続部分の対策を強化するとの答弁がありました。

【暮らしの安心につながる政策へ】

こどもの成長を支えること。地域に働く場所をつくること。必要な医療や介護を安心して受けられること。これらはどれも毎日の暮らしに直結する大切な課題です。

国の制度が現場で本当に役立つように、これからも皆さまの声を届け、具体的な改善につなげていきます。

衆議院議員
山本左近



やまもと・さこん

愛知県豊橋市出身。1982年7月9日生まれ。44歳。豊橋南高校卒業、南山大学。11歳、レーシングキャリアスタート。19歳、単身渡欧。24歳、当時日本人最年少F1ドライバーデビュー。30歳、帰国後、医療介護福祉の世界に。医療法人・社会福祉法人さわらびグループの統括本部長就任。2019年第25回参議院議員通常選挙（比例代表）に自民党公認で立候補し、落選。2021年第49回衆議院議員総選挙（東海ブロック比例代表）に自民党公認で立候補し初当選。当選直後から、合成燃料の国産化の必要性を訴え、3年以内に日本初の実証プラントの稼動を実現した。また、2022年8月、初当選後一年に満たない中、文部科学大臣政務官 兼 復興大臣政務官 に異例の抜擢。科学技術・文化の担務を中心に活躍。2024年 第50回衆議院議員総選挙にて落選。2026年第51回衆議院議員総選挙にて2期目の当選。英語、スペイン語を話すマルチリンガル。

衆議院議員　山本左近

資料解説

特別委員会にて質問に立つ！

ジャパンNo.1アゲイン

山本左近ニュース　2026.11.06 国会質問

現場の声を政策へ

こどもの育ちと、地域の安心を支える

豊橋・東三河の声を、国の具体的な支援へ



01 こどもの放課後

「小４の壁」を越える

学童保育の待機児童のうち
約6割
小学４年生以上
2025年・国の調査

年収300万円未満の世帯では
約3割
直近１年に学校外の体験なし
2022年・民間調査

制度上は小６まで。高学年の受け皿が課題。



山本左近が求めたこと

必要な預かり ＋ 自分で選べる体験

政府答弁｜中司大臣

- 学校施設を活用し、高学年の居場所づくり
- 2027年度の予算を要求中
- 主体的に参加する活動への補助を予定

02 地域の産業と仕事

地域未来戦略で挑戦を支える

産業を育てる３つの計画

A 戦略産業クラスター計画	国が策定
B 地域産業クラスター計画	都道府県等が策定
C 地場産業成長プラン　今回の質問	市町村または都道府県が策定

地元の農林水産・食品・観光などを伸ばす。

地域未来戦略
＝ 方向性と計画

地域未来交付金
＝ 資金面の支援



山本左近が求めたこと

相談窓口と、計画から実行までの伴走支援

政府答弁｜藤井大臣

- 国の相談窓口と職員等で支援
- 計画に沿う事業を交付金で優先採択
- 今後５年間の支援方針は2026年末に提示予定

既存利用自治体の新たな申請条件は引き続き確認

03 医療・介護の安心

情報をつなぎ、安全を守る



薬・治療の情報を共有し、切れ目のないケアへ

サイバーセキュリティは、デジタル社会の防災

山本左近が求めたこと

小規模な医療機関・介護事業所や委託先も含めた安全対策への支援

政府答弁｜古川大臣

1. 安全管理の指針を示す
2. 電子カルテの安全性を審査　認証制度は検討中
   弱点の診断結果と対応も確認
3. 外部ネットワークとの接続を見直す

制度を、現場で役立つ支援へ。　示された方針の具体化を確かめ、皆様の声を政策に届けます。　山本左近

統計：こども家庭庁（2025年）／CFC「子どもの体験格差実態調査」（2022年調査）　制度：内閣官房・経済産業省「地域未来戦略の取組状況について」（2026年10月）　答弁：衆議院審議中継（2026年11月6日）



11月6日、衆議院の特別委員会で質問。これまで豊橋・東三河で伺ってきた現場の声をもとに、国に具体的な支援を求め質問しました。中司大臣、藤井大臣、古川大臣から答弁。これからも現場主義を大切に、皆様の声を届けてまいります。



豊橋刑務所主催の矯正展に多くの皆さんが来場。全国からの刑務作業製品の展示・販売を通じて、受刑者の社会復帰と再犯防止の取り組みを進めています。施設の現状と課題を聞かせていただきならが、私も使っているブルースティック（洗剤）を購入しました。



各校区の生涯学習センターまつりへ。芸術の秋らしく、作品展示や芸能発表など、日頃の活動の成果に感心しきり。定年退職後に始められたお話を伺うと何歳になっても挑戦することの大切さを教えていただきました。世代を超えた繋がりがお祭りの醍醐味です。



第70回ええじゃないか豊橋まつり。今年も本当に多くの皆さんが参加し、街中が笑顔と熱気に包まれました。圧巻は市民総踊り。数えきれないほどの踊り手が一斉に舞う光景は、まさに豊橋の底力。世代も立場も超えて、一つの輪になって踊る姿に、お祭りが人と地域を結ぶ力になることを実感します。来年も皆さんと一緒に踊りたいと思います。

JAPAN as No.1 Again!
日本を再び世界一の国へ

山本左近 豊橋事務所　〒440-0806 愛知県豊橋市八町通1丁目14-1　TEL. 0532-21-7008　FAX. 0532-21-7003　info@sakonyamamoto.com

是非あなたのお力を貸してください

山本左近の政治活動を支えるサポーターを募集しています。地元の未来を共につくる仲間として、ぜひあなたのお力をお貸しください。また、ポスターを屋内外に掲示いただける方がいらっしゃいましたら、事務所までご連絡ください。

討議資料